

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	通信会社（営業主任）	・良くなる。前年12月からスタートした地上デジタル放送が客に浸透してきて、人気度が徐々に上がってきている。その動きに加え、デジタル家電の単価が下がってきていることから、デジタル家電の売行きが伸びてきている。今後も購買数の増加が見込まれている。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・野球等のスポーツが始まるので、チームなどの注文が入り始めており、良くなってきている。
		スーパー（店長）	・消費税の総額表示について客に聞くと、買物の計算がしやすくなるという意見が多いので、商売にも多少プラスとなると見込んでいる。
		コンビニ（経営者）	・前年と比べ調理めん類の売上が伸びており、この動きは今後も続く。
		コンビニ（店長）	・4、5月には毎回100万人程度の人出となる大きな祭りが控えている。徐々にムードが盛り上がり、地元メディアで取り上げられたり、関連商品が出回り始めているので、先行きに期待している。
		衣料品専門店（経営者）	・この6か月の来客数、販売量は前年比で約3%増加となっている。景気は上向き傾向に移行している。
		家電量販店（店長）	・夏に向けてオリンピックの影響もあり、現在好調のデジタル家電、ディスプレイ関係が伸びて、良い動きとなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・今まであまり発生していなかった3ナンバー、普通乗用車、セダントタイプの商談が発生し、契約に至るようになってきたので、これからはやや良くなる。
		その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・例年3～4月は携帯電話需要が増すが、今年は更に新機種の発売が重なり、販売量の増加が見込まれる。一番需要の多い29歳以下を対象にしたキャンペーンも実施する予定である。
		タクシー運転手	・社会情勢を考えると以前ほどの盛り上がりは期待できないものの、送迎会シーズンで夜間需要が見込まれる。
ゴルフ場（支配人）	・県内の精密機械、電機関係製造業に携わる企業は増産でフル稼働をしている。それを裏付けるように、関係者のコンペ予約がかなり入ってきている。3月の予約は周辺コースの料金差などで前年の90%程度となる見込みだが、4月の予約は順調である。		
変わらない	百貨店（店長）	・10月から前年実績をクリアできない状態が続いている。このままだと景気は良くならない。	
	スーパー（経営者）	・現在、大型店閉鎖のために売上、来客数が伸びているが、大型店のリニューアルオープン後は厳しくなる。	
	スーパー（統括）	・県内の有効求人倍率が1.04と9か月ぶりに1倍以上に回復し、新三種の神器といわれる携帯電話・デジタルカメラ、DVD、液晶・プラズマテレビに関わるIT関連企業の好調さが伝えられるなど、県内経済全般としては回復基調にある。しかし農業所得の減少、ボーナスダウン、社会保険料の増額等、消費マインドは冷え込んだままである。	
	スーパー（経営企画担当）	・競合店が2店ほど閉店する予定であるが、新規出店する話もあるので、総じて変わらない。	
	コンビニ（店長）	・ペットボトルのキャップ等のフィギュア商品が、一時的には単価アップをもたらすが、牛肉、鳥肉の先行きがわからないので、変わらない。	
	衣料品専門店（店長）	・行楽や結婚式のシーズンではあるが、コーディネート販売や、スーツ等の重衣料のカジュアル化により、高額商品の販売はあまり望めない。	
	乗用車販売店（従業員）	・お買い得車を設定しても客の慎重な姿勢は変わらないので、販売台数の伸びは期待できない。	
	住関連専門店（店長）	・地元企業の倒産等で消費者心理が今一つなので、多少良くなっても相殺される。	
	高級レストラン（店長）	・歓送迎会などで人の動く季節ではあるが、現在までの予約状況はほぼ前年並みである。	
	一般レストラン（業務担当）	・3～4月に行われる企業、各種団体の年度替りに関わる会合、宴会の予約は、前年並みの入込となっている。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・3、4月は歓送迎会、入学式などで動きが多分に出てくるが、景気は変わらない。	

	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊の常連客の利用状況はあまり変わらないが、新規の客が入らない。常連の中には、最近できたホテルに移動する客も見受けられるので、今後客数が増加するという事は全く考えられない。	
	旅行代理店（経営者）	・例年であればこれから盛り返すところであるが、鳥インフルエンザを含めた部分で風評等が出ており、販売量、客単価は現在と変わらない。	
	旅行代理店（営業担当）	・当農業地域では、農産物価格の低迷が続いている限りは基本的に改善しない。その他、鳥インフルエンザ、SARSの影響からも脱却しきれないので、悪いまま変わらない。	
	通信会社（社員）	・携帯電話市場は、買換え需要が中心であり、新規加入数や純増数は伸び悩んでいる。今後はより一層シェア競争が激化する。	
	観光名所（職員）	・各店の営業努力で、客単価は低くても前年並みの来客数は確保する。	
	ゴルフ場（副支配人）	・3か月後の予約はそれなりである。本来は春のシーズンに向かって良くなる時期であるが、3か月後の予約状況を見ると、土日の予約はそれなりにあっても、平日の引き合いが少ないので、変わらない。	
	その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・新規の整備工場が増え、競争に加速がかかり、客の取り合いは激しさを増している。安売りは一部にとどまり、整備料金は一定の価格が保たれてきている。	
	設計事務所（所長）	・建設関連業種について、良くなるという要素はない。	
	住宅販売会社（経営者）	・担保価値の評価法の厳しさから不動産価格が一向に上がらず、そのため不動産に対する銀行融資が厳しいという状況が続く以上は良くならない。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・できて6年の商店街であるが、一度テナントが抜けると何か月も空き店舗のままであり、街としての形成が壊れているような状況なので、今後良くはならない。	
	一般レストラン（経営者）	・歓送迎会の予約次第であるが、新駅周辺に大型チェーン店などの多くの店が進出した影響で客の流れが変わってきており、今後かなりの影響があると覚悟している。	
	美容室（経営者）	・今年は例年に比べて非常に景気が悪い。卒業式、入学式があっても、客はなかなかお金をかけられない。	
	住宅販売会社（経営者）	・年金問題など、社会の先行きに対する不安が大きく、借入れをしてまで家を購入する客が少ないので、好転する材料がない。	
悪くなる	スーパー（経営者）	・消費税の総額表示が消費者心理にマイナスに働いて、悪くなる。	
	衣料品専門店（販売担当）	・地元銀行が破たんした影響が顕著に出始めている。周辺の倒産、連鎖倒産は、そのまま経済環境に悪影響を及ぼすため、これから一層景気は悪化する。	
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・3か月先の受注量は前年比10%増加する見込みであるが、前年比10%というのはこれまでにない数字であり、景気は上向いているといえる。特に、3月はフル生産体制である。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・2月より自動車関連部品は2%、建設機械関連は5%増加している。今後は当分このままとする。
		電気機械器具製造業（経営者）	・県内の中堅企業で、特に半導体関連、建機関係、自動車関連の仕事量が大幅に増加してきている。それに伴い、いくつか設備投資の動きも出てきているので、2~3か月先は現状よりは若干回復する。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・3月に市内の新しい幹線道路が開通し、他にもう一本開通予定の幹線道路があることから、新しい店の開設が進んでおり、付近への出店は今後も続くことが予想される。その割には紙面広告は横ばい状態で、広告主の慎重さがうかがえる。広告会社の担当からは、前年の企画を継承したような広告は好まれず、タイムリーで新鮮な企画が求められていると聞いている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・業態によっては、素材の単価上昇を製品価格に転嫁できないために収益が悪化している取引先も多いが、収益状況が改善傾向にある取引先からの引き合い、受注量が増加しており、4~6月期の収益はかなり改善する見込みである。
変わらない		化学工業（総務担当）	・鉄鋼関連は回復の兆しがほとんどないが、半導体関連は良いので、総じて変わらない。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・国内総生産増が7%と発表されているが、地方の中小企業の実態はまだまだ厳しい。

	一般機械器具製造業 (生産管理担当)	・自動車業界、建設機械業界に関しては、年度が変わっても現状の受注量を確保できる見込みである。その一方で、材料メーカー各社から要請のある素材の値上げの影響が、いつどのような形で出てくるか分からない状況である。
	電気機械器具製造業 (経営者)	・仕事の引き合いは出てきているが、コスト面で採算が難しく、忙しいだけで、景気上昇には結びつかない。
	建設業(経営者)	・受注は増加せず、競争が激化している状況は変わらない。
	金融業(経営企画担当)	・現在のところBSE、鳥インフルエンザ等の目立った影響は出ていないが、食べ物に直結することなので、今後被害が拡大すると、影響が懸念される。
	不動産業(管理担当)	・空室を埋めるテナント探しがかなり難航している。価格面での折り合いももちろんあるが、付近に新しいビルが立ち、15年近くの築年数が経過した当ビルへの入居確保は厳しい状態となっている。
	広告代理店(営業担当)	・販促活動は活発化しても、広告経費の抑制(小ロット、メディアのセグメント)は続く。消費者のふところが厳しいことは今後も変わらず、販促効果は薄い。
	経営コンサルタント	・企業の将来に関する個別の商談案件では、通年取引ベースの範囲内のものが主であり、新しいニーズによる景気浮揚効果を期待できるものはまれである。
やや悪くなる	電気機械器具製造業 (経営者)	・地方の中小製造メーカーでは、仕事が全て中国に出てしまい、国内に残っているのはごく小ロット、短納期のもののみで、来れば忙しいが、それを拒否すると全く仕事なくなるというひどい状況である。中小零細の製造業にとっては、この先もっと厳しくなる。
	その他サービス業[放送] (営業担当)	・4月からの年間契約は、官公庁などを中心に5%程度落ち込む見通しである。スポット物の商業、流通、サービス業、イベント等も減少傾向にあり、売上高は相対的に減少する見通しである。
悪くなる	建設業(総務担当)	・公共事業工事削減の影響で、1月末での受注残が前年比56%と大幅に減少しているため、今後も厳しい。
雇用 関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	人材派遣会社(経営者)	・生産関係は、3月から注文が出始める予定であり、電子関連は、不良品等がなければ生産は伸びていく。家庭用雑貨等の小売、卸については、3~5月までの見込みが立っており、在庫製品の管理、配送等の準備段階に入っている。全般的にはやや上向き傾向である。
	人材派遣会社(営業担当)	・製造業の上向き傾向が基盤を形成し、消費の拡大に繋がっているのか、旅行、観光業からの派遣依頼がいくつか出てきているが、即戦力となる経験者や高いレベルのスキルが要求されるため、人材確保がままならない。また、低い派遣料金や、ハードな勤務内容など、受発注のアンバランスも目立っている。製造業関連で、海外とのネットワーク形成や取引拡大のためか、料金面でのギャップはあるものの、たまに通訳の要請がある。
	職業安定所(職員)	・高卒向け求人数が前年同月比で29.5%増加しているため、今後はやや良くなる。
	職業安定所(職員)	・デジタル関連機器の増産に伴い、半導体、液晶製造装置の生産が好調に推移しており、生産、人員ともに増強を図っているため、やや良くなる。
変わらない	求人情報誌製作会社 (経営者)	・アウトレット、大型ショッピングモールの出店に加え、4月には夏にオープンする予定のアウトレットの2次募集も出てくるので、求人の動きはやや良くなる。
	求人情報誌製作会社 (経営者)	・県内に大企業が大々的に進出してきており、それに伴い中小企業の小規模化や倒産が見受けられるので、プラスマイナスで変わらない。
	職業安定所(職員)	・前年同月比で見ると、有効求職者数は14か月連続で減少し、有効求人数は16か月連続増加となっているが、3月に2件、大量企業整備の話が出ており、一概に良い方向とはいえない。
	職業安定所(職員)	・前年比での有効求人倍率は、一昨年9月から18か月連続で増加しており、1.50倍となっているが、求人内容等のミスマッチが多く、就職率が上がらない状況が続いているので、変わらない。
	学校[短期大学](就職担当)	・2月に2回開催された、来春大学等卒業予定者対象の合同就職面接会の参加企業、求人数は、いずれも前年並みとなっている。特に、自動車ディーラーや情報関連の営業職、設計技術者の求人が目立っている。

やや悪くなる	-	-
悪くなる		